

第2回アジア角膜学会の報告

第2回アジア角膜学会が京都府立医科大学眼科学教室の木下教授を会長に、12月2日から3日まで京都ウエスティン都ホテルで開催されました。秋の紅葉も長持ちするすばらしい日和に恵まれ、国内外から655名が参加する国際学会として非常に盛大な内容となりました。アジア角膜学会は2年に一度開催され、第一回はシンガポールで開催され、今回が2回目になります。本学会では特別講演8題、シンポジウムが23セッション企画され、現在の

角膜分野の基礎から臨床の幅広い内容が議論されました。アジアから190名、欧米からは著名な角膜専門医を含む67名が参加し、世界角膜学会を上回る充実した学会となりました。本学会では“An Enlightening Focus on the Future!”

をテーマとして角膜内皮移植、円錐角膜治療、眼表面再建などの最先端医療について熱く議論され、また発表内容は翌日にはウェブサイトで講演を聞くことができる新しいスタイルでの学会運営が成功をおさめました。(稲富 勉)



第11回日本抗加齢医学会総会、5月に国立京都国際会館にて開催

このたび、木下茂教授が学会長を務めます第11回日本抗加齢医学会総会を2011年5月27日(金)～29日(日)の3日間、国立京都国際会館にて開催いたします。本総会の母体である日本抗加齢医学会は2001年に日本抗加齢研究会として発足して以来、年々会員数が増加し、現在では吉川敏一理事長(京都府立医科大学学長)のもと6,600名を超える会員を擁する学術団体として活動しております。今回は主テーマを「アンチエイジングの心の眼を拓く—An Enlightening Focus on the Future Anti-Aging Medicine—」とし、加齢・抗加齢に係わる基礎研究者から臨床医療従事者が一同に会し、アンチエイジングに最新の科学的根拠や疫学的根拠を加え、今後の抗加齢医学の発展および健康長寿の実現への礎を築きたいと考えております。

特別講演として吉川敏一学長(京都府立医科大学)、門脇孝教授(東京大学 糖尿病・代謝内科)、石川冬木教授(京都大学 生命科学部)にご講演いただきます。また千玄室大宗匠(茶道裏千家 15代家元)をお招きし招待講演「茶道と長寿」を行います。その他に教育講演、会長指名講演、一般口演、ポスター発表に加え、昨年好評であった指導士プログラムを継続して開催いたします。さらに今回の特別企画として最先端の研究者にお集まりいただき、抗加齢医学に関する基礎医学的研究に焦点をあてた集中的なシンポジウム・ワークショップ開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。詳細はホームページ(<http://jaam2011.umin.jp/index.html>)をご覧ください。(上野盛夫)

スリーサム2011京都、7月に国立京都国際会館にて開催

2010年7月8日(金)～10日(日)の3日間、国立京都国際会館におきましてスリーサム2011京都が開催されます。スリーサムは、日本眼感染症学会、日本眼炎症学会、日本コンタクトレンズ学会総会の3つの学会が合同で開催されるものです。今年、第48回日本眼感染症学会の学会長を当教室の外園千恵講師が、第45回日本眼炎症学会の学会長を神戸海星病院眼科の安積淳先生が、第54回日本コンタクトレンズ学会総会の学会長を当教室の大先輩である小玉裕司先生が担当されます。

第48回日本眼感染症学会では、日常的診療で遭遇する結膜炎・角膜炎をはじめ、治療の困難な耐性菌眼感染症、診断に苦慮する混合感染症等、多くの症例について御

表ならびに議論をしていただければと思っております。また、教育という観点から、日本眼感染症学会が主催して塗抹検鏡スキルトランスファーを開催します。特別講演では眼表面常在細菌である表皮ブドウ球菌に関する最新の知見を基礎医学の面からご講演いただく予定です。さらに、第45回日本眼炎症学会と合同で、感染と炎症の両方に大きく関係する自然免疫に関するシンポジウムを開催するとともに、一般口演に合同セッションとして「感染性ぶどう膜炎」というセッションを設けます。

第45回日本眼炎症学会では、上記感染症学会との合同シンポジウムならびに合同セッションにくわえて、幅広く眼炎症に関する演題を集めます。さらに、教育という観

点から、炎症を全身からとらえることを目的に、皮膚科、小児科、免疫内科、感染症内科の先生方に御講演いただく学会企画セミナーを開催いたします。

第54回日本コンタクトレンズ学会総会では、「コンタクトレンズの基礎にかえる」をコンセプトに、特別講演やコンタクトレンズ講習会を行います。また、第48回日本眼感染症学会との合同シンポジウムでは、コンタクトレンズの未来を語ります。

一般眼科診療に密接に関わる眼感染症、眼炎症、コンタクトレンズについて一度に勉強できる機会です。是非、皆様ご参加をお待ちしております。(上田真由実)

編集 後記

このたびの東日本大震災に関係してお亡くなりになりました数多くの方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災避難されている多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。さてET革命は京都近郊で診療しておられる先生方に眼科に関するアップデートな情報を提供し、日常の診療に役立てていただきたく思っております。さまざまなご意見をお寄せいただければ幸いです。(木下 茂)